

tokyo Asuika

あなた
君の輝く瞳に逢いたい...

Asuika 「あしび」

記念の年、2016

今年はいろいろ節目の年。
思いも新たに福山葦陽東京同窓会は
益々発展致します。

第1回 福山葦陽東京同窓会 中央は友竹正則さん



110

母校
創立 **110** 周年

明治39年(1906)
福山町立福山女学校創立



上/旧三之丸校舎 下/現在の久松台校舎

30

第**30**回
福山葦陽
東京同窓会

昭和62年(1987)
第1回 福山葦陽
東京同窓会開催
於 東京八重洲鉄道会館ルビーホール

10

あしび **10** 号

平成19年(2007)
「あしび」創刊

「あしび」創刊号





赤松治美同窓会会長のあいさつ

Report 報告

29th
T.DOSOKAI
2015.10.25(sun.)
in Kanda Gakushikaikan



第29回 福山葦陽東京同窓会

福山葦陽東京同窓会会長

来山 征士

福山葦陽東京同窓会会員の皆様には益々お元気で、多方面にご活躍の毎日をお送りのこととお慶び申し上げます。

2016年の今年は母校創立110周年、東京同窓会30回開催、そして「あしび」10号発行と節目の年となり、郷里福山では市制施行100周年とお目出度いことが重なりました。

昨年の10月25日(日)、第29回福山葦陽東京同窓会は学士会館で開催、本部同窓会の赤松会長をはじめ、藤井校長、来賓の方々を含め104名のご参加で開催いたしました。会場の学士会館は国の有形文化財に登録され、重厚な中にも華やかな雰囲気、福山から参加の演歌歌手松永悦子さん(47年卒)の「ささやき橋」の歌唱もあり会場に花を添えました。そして東京在住の大学生や福山より参加された39年卒、49年卒の方々の福山と東京の合同同期会の会場にもなり例年にも増して賑やかな会となりました事を、この場をお借りしてご報告させていただきます。

今年の第30回同窓会は10月23日(日)に昨年と同じ学士会館にて開催いたします。同窓会がますます世代を超えた交流の場となり、郷里や母校への思いを深める場となりますよう皆様お誘い合わせの上、一人でも多くのご参加をお願いいたします。



池田 福山市事務所長



村上 副会長(乾杯)



来山 会長



藤井 校長



赤松 同窓会会長



S31、34年卒



S23、26、27、28年卒



S24、25、32年卒



S47、48、50、60、H4年卒



S43、45、H14年卒



S42、43、44年卒



出席者 (敬称略)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|-------------|--------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|------------|-----------|-------------|
| 山下 恵子 | 吉井 和子 S 33 | 石井 義信 | 池田 朗子 S 32 | 三島 克紀 | 岩瀬 健祐 | 占部 勲司 S 31 | 小田 富子 S 30 | 中山 信義 | 永島 直子 S 28 | 大土井 晃 S 27 | 橋本 文子 S 26 | 徳永 文子 S 26 | 藤永 政江 S 25 | 原田 玲子 S 25 | 藤井 拓三 S 25 | 川原 絹子 S 24 | 石山 靖子 S 24 | 永島 靖子 S 24 | 宮野 紋子 S 24 | 北中 三重子 S 23 | 角田 昌子 S 20・B | 児玉 壽實子 S 19 | 花本 光子 S 18 | 池田 圭次 S 18 | ●福山市事務所 | 藤井 悦子 S 18 | ●葦陽校長 | 赤松 治美 S 18 | ●本部長 | | | | | | | | |
| 丹下 和幸 S 44 | 小川 敏彦 S 44 | 藤井 栄治 S 34 | 坂田 典子 S 34 | 立川 和枝 S 34 | 柳橋 貴子 S 34 | 佐藤 凡雄 S 34 | 開原 剛 S 34 | 連石 勉 S 36 | 東 早苗 S 36 | 井上 哲也 S 36 | 來山 征士 S 36 | 向井 総昭 S 37 | 遠藤 宏子 S 37 | 岩瀬 浩造 S 37 | 垣原 洋昭 S 38 | 升川 澄子 S 38 | 三吉 伸子 S 38 | 坂本 昭博 S 39 | 本瓦 定美 S 39 | 佐藤 松枝 S 39 | 小野 知行 S 39 | 竹内 肇 S 40 | 華山 泰吉 S 40 | 黒川 孝人 S 40 | 菅波 孝人 S 40 | 神原 郁子 S 40 | 田丸 知子 S 40 | 西 直枝 S 40 | 村上 芳則 S 41 | 坂本 智和 S 41 | 正田 典晟 S 41 | 廣江 邦男 S 42 | 黒田 真理子 S 42 | 富沢 真澄 S 43 | 木下 照江 S 43 | 神 敏子 S 43 | 中山 紀代子 S 43 |
| 磯川 志 S 44 | 清川 茂美 S 44 | 古川 春美 S 44 | 猪原 悟 S 44 | 住谷 敏日子 S 44 | 廣川 照樹 S 44 | 藤井 孝敏 S 44 | 細谷 永子 S 45 | 宮本 郁子 S 45 | 池田 由紀子 S 45 | 寄國 雅子 S 47 | 寄國 雅子 S 47 | 松永 悦子 S 47 | 世良 眞理子 S 47 | 森山 幸代 S 48 | 鶴見 恵子 S 48 | 相原 謙一 S 49 | 水船美 佐子 S 49 | 松本 厚子 S 49 | 飯塚 令子 S 49 | 篠塚 康孝 S 49 | 彦田 陽治 S 49 | 小林 幸男 S 49 | 土田 浩司 S 50 | 成澤 勝行 S 50 | 福島 博行 S 50 | 掛谷 一夫 S 60 | 片岡 靖規 S 60 | 梅田 崇由 S 14 | 植村 崇由 S 14 | 田口 崇美 S 24 | 谷垣 成美 S 24 | 藤井 すみれ S 24 | | | | | |

●数字は卒業年



来賓の方々とS18、19、20、30年卒



S47年卒 松永悦子さん(さざやき橋)



本部 篠塚 副会長



S37、39、41年卒



S38、40、41年卒



S33、36年卒



葦陽校歌斉唱



県女校歌斉唱



S49、50、H24年卒(大学生)



気がつけば91歳 元気です!!

デイサービスでの様子



デイサービスで誕生祝い

花本光子(旧姓岡田)

(昭和18年卒・横浜市)

■皆様お元気におすごしのことと存じます。私も元気にすごしています。

気がつけば91才!! 自分でもびっくりしております。昭和18年に卒業して、別に年を重ねたと思はぬうちに91才になっており本当にびっくりです。

91才になった今でも、卒業後何をしたのかわからないうちに、こんな年になっていました。何となく生きて来たと思うのみです。私は何を目的に生きて来たのかそんな物々しい思いもなく、毎日幸せに寝たり起きたりして来た毎日でした。これからもそんな生活が続いていくのでしょうか。

昨年の秋の同窓会(福山葦陽東京同窓会)に出席させて頂き、何だか浦島太郎のような感じでした。一日何とかすごして子供に送迎してもらい家に帰りましたが、何か変でした。同窓会には皆さん揃って出席されたらきつとたのしい一日がすごせるような気がします。クラス同窓会もたのしいですが、一級一級上や下の人にお目にかかり、見たことあるような人だなと思ったりワクワクします。

県女の同窓会に出席して本当によかったと思います。

昭和32年卒



『絞り染』の一枚

池田朗子 (昭和32年卒・横浜市)

■小・中学時代を過ごしました柄も、葦陽の三年間を過ごしました福山も、すっかり遠くになってしまい、訪ねることもなく過ごしておりますが、年に一度、何だかなつかしい同窓生にお会いできるのが、福山葦陽東京同窓会です。今年は30回目を迎える年になりました。

毎年開催の準備をして下さる多くの係の方々のおかげで一年に一度、お互いの無事を喜び、話して花を咲かせ、楽しい時間を過ごしております。本当に感謝しております。

今年も、長年楽しんでまいりました『絞り染』を秋の同窓会に出席された方全員に差し上げようと思ひ、我が家で作っているところを紹介させていただきます。総会当日お手元に届くものは、ほんの小さなものですが、とにかく皆様に、と思ひましたので、夢中に取り組みました。小さな布に白い部分と染まっている部分の心地いい対比を考えながら、ただひたすら無心に絞るのです。

この一枚どなたに届くのかしらと、最後に縫い、アイロンがけをしました。心をこめた一枚です。どうぞ楽しんで下さいませ。



今年の同窓会でプレゼント

昭和34年卒

福山葦陽作品展



自慢の孫と、後ろは第2回作品展出品「孫」

連石 勉 (昭和34年卒・横浜市)

■来年は喜寿を迎えます。サラリーマンを経て昭和50年に建設会社を設立しました。その私が福山葦陽作品展に油絵を毎回出展しているのは、昭和61年に関東地区の同期の集まりで、同期会を「あしだ会」と命名。そのメンバーたるや10人それぞれこの会社で堂々と活躍されている人達でした。中の一人に、勤務された会社の油絵同好会で描かれていた立川和枝さんに勧誘されました。はつきりと返事をしないまま何年か過ぎた頃、突然に油絵の道具一式を着払いで送り付けられてびっくり! 何万円支払ったか定かではないが、もつたないと思ひ、油絵の本を見ながら我流で描き始めました。ある時、「あしだ会」のメンバーの一人で中央競馬会理事の小迫吉光君から東京競馬場で絵画を募集するから必ず1点出展するように言われ、競走馬の絵を出展したら、彼の手心のせいが入選し、東京競馬場に展示してもらいました。その後は娘や孫を手当たり次第描き続けました。今、思えば会社の舵取りに苦勞していた頃も夢中で描き続け、充実した時を過ごしてきた気がします。

福山葦陽作品展の第1回、第2回と出展させて頂き110周年の今年の第3回にも2点出展させて頂く予定です。母校創立100周年から始まったゴルフコンペにも初回より今年の第10回まで参加しました。34年卒が一番多く参加する学年でありいつもバナナをもらって帰ります。

これから先も元気である限り、東京の「あしだ会」や福山での年3回のゴルフコンペ(辰巳会)に参加し、より多くの同期の友から色々な生き方を学び取り、この先の役に立てたいと思っております。

高校時代の思い出

昭和35年卒



元気で我が家の庭の手入れ

田治正光 (昭和35年卒・杉並区)

長男の私は毎年お盆と暮の節季に世羅郡の実家に帰省します。福山に立ち寄るのは駅前にある「三象」という同級生のやっているトンカツ店に行き、コースカツ定食を食べるためです。その味わいはカツに彼の人柄がミックスされていて絶妙です。カウンターで料理している後ろ姿を見ると、頭はもう白髪なのに自ずと半世紀前の学ラン時代を今の如くに思い出します。この春もここで同級生四人の訃報を聞き驚きましたが、思い出すは彼等のラグビー、サッカー、柔道などをしていく若々しい姿です。

卒業後その四倍の歳月を過ごし、その間にそれぞれの人生の中身があるのでしようけれども。多忙中の彼と近々の再来を約し店を出て、福塩線の発車時刻までの合間に四十四年ぶりに城址公園に登り西側にあった母校の跡地を眺めました。

ここで当時を色々懐かしんでいる中で特に記憶に残るのは、同じクラスの演劇部所属で、仲良しのS君。とある日彼が真面目な顔でカバンから封書を出し「これを同じクラスのTさんに渡してくれ！ 自分は、恥ずかしくて渡せないの頼む」とのこと。先に言ったほうが勝ちで翌日タイムイングを見て「これ！」と云い渡しました。中にS君の名前がなければ僕の手紙ですが、どうだったのかその後のことは忘れませんでした！

彼はその後、職場結婚し頑張っていました。が酒豪なばかりに四十六の若さで突如他界してしまいました。世の中全てが流転無常、瞬時にここまで来たと思つた城址公園でした。

60,70歳はまだ若い!!

昭和36年卒



我が家の前の荒川土手で妻と

さつそつと!?
爽やかに
ノルディック
ウォーク

井上哲也 (昭和36年卒・熊谷市)



2019年ラグビーワールドカップ会場 熊谷ドーム前 (前列右端)

「ノルディックウォークって何だろう？」これは二本のポールを持ってクロスカントリースキのように行うウォーキングで、フィンランドが発祥の地です。これが日本に来て、医療効果があるということである発展を遂げました。小生も妻と一緒に二昨年発足した、熊谷市のノルディックグループに参加し、毎日二万歩を、あくまで目標に歩いています。

ウォーキングより消費カロリーがアップし、全身の筋力アップ、膝や腰への負担が少なくなり、熊谷市では「医療費が軽減できる」と推進を図っています。

ノルディックの聖地は群馬県上野村(日航事故の村)で、村役場の滝沢氏に指導を受け、ヴィラせせらぎの運動場で基礎を教わり、滝まで歩いて往復、銀座で修業したというシェフの料理に舌鼓を打ち、温泉に入って疲れを癒します。十人以上のグループならJR高崎駅、熊谷駅、下仁田駅までマイクパス(無料)が迎えに来てくれます。

ノルディックウォークで効果があるとされるものは脊椎湾曲、ひざ痛、肩こり、認知症(毎分120歩以上で10分・毎日5000歩)腰痛などですが、転びにくくなるし、姿勢がよくなるなどの効果があります。どこでも手軽に運動できるノルディックウォークを皆様もどうぞ！

- 上野村 TEL0274-2007070
 - ヴィラせせらぎ TEL0274-59-2585
- どちらも滝沢様

昭和38年卒



週2日の卓球

今が最高

三吉伸子 (昭和38年卒・豊島区)

高校卒業後、上京して半世紀以上。東京生活の方がうんと長くなりました。あの頃はこんなになるとは思いもしませんでした。今日は、私の生活のうち週2日を占めている卓球について話します。

退職後、区報で卓球教室生徒募集中の記事を見つけ、すぐ申し込みました。何しろ暇だったので。それ以来もう15年くらい続いています。

卓球は一人ではできません。私もあの年齢になるまであんなに元気でいられたらいいなと思う年長の卓球仲間がたくさんいらっしゃいます。とはいっても、腰が痛いんだとか、ボツツと話して下さったりもします。運動不足解消が第一の目的ではあるのですが、少しでも上手になりたいのも本心です。自分ではまだまだ上達していると思つてはいるのですが……。

スポーツは何でもそうでしょうけど、頭も使うのです。福原愛ちゃんだつて頭をフル回転させているはず。この間、あの手もダメ、この手もダメ、次はどうしようかと一生懸命考えていたら、相手の方が「下手な考え休むに似たり」と。返す言葉がありませんでした。卓球は楽しく、卓球仲間は大切な方々です。

他に朗読を月2回やっているのですが、最近、「論語」の勉強が加わりました。孔子です。こいと毎回思わされています。というわけで、今、毎日とても楽しく生きています。



論語塾の安岡定子塾長、元NHKアナウンサーの村上信夫さんと

昭和
44年卒

磐田市に住んで30年



伊豆下田の船上で



熱海トリックアート迷宮館にて

廣川照樹

(昭和44年卒・静岡県磐田市)

■只今、夫婦、息子夫婦と孫2人の計6人で、周りが茶畑の地域に住んでいます。私にとつて、遠州地方は第二の故郷になりました。昨年10月に定年をむかえ、在職中は、「わしも族(定年退職後奥さんを追って、わしも連れていって)と言っ主人のこと」にならないようにと決め、毎日、スポーツジムと定年後に始めたゴルフの上達を目指しレッスンを励んでいます。

若い時には、簡単と思われたことが、頭では分かっているも体が動かないことを実感しています。さて、これらに取り組んで驚いたのは、ご婦人の多さでした。ジムのスタジオでは、ご婦人の中に混じり、彼女たちのリズム感のよさに引っぱられてエアロのステップを踏み、ゴルフレッスンでは女性の柔軟性を活かしたシヨットを参考に、毎日生き生きと過ごして、たまには勤めていた会社の若い人たちと食事会等をしています。

近年、女性の社会進出が言われていますが、仕事以外の場所にも数多くの方が参加され、フアッションを楽しみ「いつまでも健康。いつまでも美しい」を謳歌し自己主張をしています。まさに、私が在籍していた時代の「福山葦陽高校」の再来です！ 勤めていた時期は、故郷のことや母校のことが頭の中に浮かんできませんでした。2年前初めて参加した東京支部の同窓会で集まった同級生を見たとき、突然、頭の中を高校時代が駆け巡り、昔話に花が咲き、県女時代の校歌も拝聴し、楽しい時を持つことができました。東京支部を支えていらっしゃる方々に感謝・感謝の気持ちで一杯になりました。最後に、今の私の当面の目標は「健康」です。みなさん、同窓会でまたお会いしましょう。

昭和
45年卒

こんな日が来るなんて



今は工作やイラストを描いています



娘(シンガーソングライター)のCDジャケットをデザイン

細谷永子

(昭和45年卒・秦野市)

■なんと、私と学友の3人は、40年間も行方不明だったので。去年、友人が本部に送ったメールで、無事同窓生として発見されました。

今年6月に出席した、銀座「artoy展」には、同期生の来訪に、感激しました。こんな日が来るなんて、毎年同窓会が行われ、こんな素敵な冊子が出来ていたなんて、本当に驚きです。

高校卒業後、女子美術大学に進学した私は、教育実習で葦陽高校にお世話になりました。当時、進学の相談にのって頂いた小野美知子先生、担任だった内田先生もすでに在籍されず、高尾先生に指導を受けました。が、やはり少し淋しく思ったことを記憶しています。

結局、教員にはならず、結婚し、フリーの児童美術教室に関わることに。子供達の発想の面白さ、感性の豊かさ、色や形の自由さにはのめり込むほどの楽しさがあり、現在も、町田、相模原、横浜で美術教室、幼稚園での絵画指導を続けています。私自身の作品は、油絵で賞を頂いた事もあったのですが、現在は、子供達のパワーをもらいながら、電気じかけのロボット工作や、イラストを描いたりしています。

なぜ電気ロボットかと言いますと、夏の工作教室で企画したロボット工作が人気があり、指導するだけでなく、自分でも作りたくなったというのがそもそものきっかけです。しかしながら、今回、小野先生の大きな壁画を拝見し、圧倒されました。そして、昔、100号の絵ばかり描いていたことを思い出し、また、私も大きな作品を描きたいと思っています。いつか、小野先生にお会いしたいです。

昭和
60年卒

新校舎最初の入学生



「五十にして天命を知り」という節目の歳となります



全面移転記念の文鎮

掛谷一夫

(昭和60年卒・練馬区)

■私たちの代(昭和57年入学)が、現在の久松台の新校舎に移転しての最初の入学生でした。入学した年に、母校の先輩である故友竹正則さん(昭和24年卒) 作詞・作曲による移転記念の校歌が披露され、ご本人による歌唱指導が行われたことを覚えています。(写真は、全面移転記念の文鎮。実家の片づけをしている際に見つけました)

当時、総合選抜制度のもと、市内ほぼ中心に位置する母校には、様々な中学校から生徒が来ていました。私は内陸部(市内最東部の坪生町)でしたが、沿岸部や市内中心部からの生徒と一緒に、今で言うところの「多様性」を理解する最初の機会となりました。そのなかで気の合う友達がたくさんでき、3年間を楽しく過ごしました。

高校卒業後、関東の大学に進学。卒業がバブル期にあたるなか、通信会社に就職。会社では主に経営戦略・管理の業務に従事し、現在はIT会社で事業計画を担当しています。今はグローバルでの経営管理体制の構築が課題です。勤務地はほぼ東京です。キャリアのなかでは、米国大学院に留学する機会に恵まれたことが貴重な経験となっています。英語では相当苦労しましたが、視野が広がり、大抵なことには動じない度胸はつきました。

今年、論語の「五十にして天命を知り」という節目の歳となります。私自身は、知命の境地には至っておりませんが、近頃は後進の育成も意識するようになってきました。まずは自らできる範囲から行動しようと思っています。

サッカーの国際審判として

平成3年卒



国際審判の仲間と



サウジアラビアで(右から3人目)

■私は現在、サッカーの国際審判員として国内と国外でサッカーの審判活動を行っております。

これまで世界40ヶ国以上の国々で、120回以上審判活動を行ってきましたが、海外での審判活動で大変なことは、やはり環境が大きく変わることでしょうか。

例えばサウジアラビアに国際試合で行くとすると、スケジュールは、ほぼ1日かけて移動して2日前に現地に入り、環境に慣れることもないまま気温42度、湿度1〜3%という悪環境のなか現地時間21時(日本時間朝方の3時)にキックオフされます。正直試合どころではないボロボロな状態で異国の選手をコントロールし試合を裁く訳です。

唯一の救いは、サッカーの質が高く、日本とは全く異なったサッカーが展開される点と、海外の選手は審判員を日本以上に尊重、配慮してくれる点、あるいは自分のパーソナリティ(性格や人柄)が日本よりも国外の方があっていることもあり、自分らしくいられかなり楽しめる、といった点です。

現在43歳、国際審判員の定年が45歳なので残りの活動期間は少ないですが、これからも異国を楽しみつつ自分の人生を豊かなものにしていけたらと思います。

家本政明 (平成3年卒・武蔵野市)

皆様お元気ですか

平成14年卒

全国選抜大会にて



植村崇由 (平成14年卒・中央区)

■私は高校を卒業後4年程の留学を経て、現在は東京でフリーランスとしてweb制作を主に活動しています。そして、趣味のゲートボールに日々励んでいます。ゲートボールと言えば、お年寄りのスポーツの代名詞になっていますが、実は若者に向けて考えられた戦略的で頭を使うスポーツなのです。やるほどに楽しいので皆さまもいかがですか？ 私はメンバーと共に日本一を目指し頑張っています。

また、二年前より福山葦陽同窓会の一員としても活動をしています。きっかけは同期会があるので集まるうち声をかけてもらい、せつかく福山に戻るなら葦陽同窓会の総会・懇親会に参加したことでした。それまでは東京に葦陽同窓会の支部があるとは考えもしませんでしたし、同窓会イコール飲み会としての認識しかありませんでした。ところが今では同窓会の活動に少しでも力になればと思いい、毎回の集まりを楽しみに参加させてもらっています。

そして節目になる、あしび10号に寄稿させていただく機会もただきありがたく思います。考えてみれば、たった3年しかない高校生活です。でも久しぶりに同窓生と会えば当時の記憶が昨日のこの様に蘇り、また、初めて会った先輩の方々とも卒業生という共通点だけで、会話が弾むというのはステキなことではないでしょうか。声をかけてもらったことに本当に感謝しています。そして、創立110周年を迎えた母校を、より歴史ある母校にするために次の世代につなげるというのは、卒業生の大切な使命だと感じています。少し表現が大きくなってしまいましたが、私の場合は海外・東京と高校を卒業して福山を離れてしまった分、何か福山の為になることをしたいという思いが常々ありました。その一端でも、同窓会の活動を通じて担うことができれば幸いです。

一期一会の出会いに感謝

平成24年卒



同窓会では昭和47年、50年卒の大先輩と同じテーブルで(前列右)

くの友人にも恵まれ有意義な大学生活を送ることが出来ました。また大学の夏休みなどの長期休暇で福山に帰った際は高校の頃の友人と遊び、高校卒業後も交友関係が続いております。昨年には、高校時代の友人の結婚式にも招かれ、友人代表という貴重な経験もさせていただきました。こうして長く続く素敵な友人に出会えたのも、葦陽高校に入学出来たからこそだと思っております。

また、大学在学中だった昨年10月には、縁があって東京で開催された葦陽高校東京同窓会に友人数名とで参加させていただきました。そこでは、高校時代では知り得なかった多くの大先輩との出会いがありました。そして同窓会に参加したからこそ「あしび」への掲載依頼があったのだと思います。この場を借りてお礼申し上げます。

今年の3月に無事に大学を卒業し、4月からは社会人一年生として奮闘している毎日です。4月1日に行われた入社式では、営業を代表して社長から辞令を受け、大変光栄でした。同級生全員が社会人となり、私自身も地元に戻ることも少なくなりましたが、時間が許す限り高校の友人とも遊びに行ったりして、今後も長く付き合っていきたいと思っています。

藤井すみれ (平成24年卒・豊島区)

■福山葦陽高等学校を卒業して、早いもので5年の歳月が経ちました。大学受験の時は、担任の先生をはじめめとし、多くの方に心配、ご迷惑をおかけしましたが、無事に東京の大学に入学することが出来ました。

大学ではゼミナールに参加したり、アカペラサークルに所属し、多

昭和62年5月13日(水)

第1回 福山葦陽東京同窓会開催

あれから

30年



昭和62年 第1回福山葦陽東京同窓会(鉄道会館ルビーホール)

同 窓会の始まりは昭和5年「福山葦陽同窓会東京支部」と称して昭和15年まで恩師も出席下さり出席者は30名位で春秋2回開催、その後太平洋戦争のため自然消滅。戦後はいつから再開されたのかは不明ですが昭和28年11月には文京区西片町、旧福山藩主阿部様のお宅(葦陽倶楽部)で開催され男子学生も数人参加する。昭和30年5月に終戦後初めて男女合同で開催されるがその後は男子の参加はなく、昭和32年から49年までは年2回の開催。会場は葦陽倶楽部、星ヶ丘茶寮、湯島聖堂、実践同窓会館、水交会、朝倉彫塑館などで出席者も30名から60名と増え、昭和50年から61年までは春1回、会場も水交会(東郷記念館)に固定。その間、以前より検討されていた新旧合同開催の機運が高まり、新制卒の男性陣との熱心な意見交換を行い、翌62年より合同での開催を決定。新旧合同の「福山葦陽東京同窓会」の記念すべき第1回総会が昭和62年5月13日(水)東京八重洲「鉄道会館ルビーホール」で開催。当時テレビなどでも活躍されていた声楽家・友竹正則さんや本部より小川一三会長も参加され、出席者172名。トップも東京支部・博田松子支部長から東京同窓会・奥田良子会長に引き継がれ

早いもので、あれから30年が経ちます。



昭和50年 水交会(東郷記念館) 東京支部記録帳

■奥田良子初代会長を偲ぶ

昭和62年、県女時代の「同窓会」から男女合同での「第1回福山葦陽同窓会」が開催され、会員の数も1000名を越え、待ちに待った会を開催することが出来ました。昭和17年卒の奥田良子さんが初代会長になられ、平成10年第12回まで会長として先頭に立ち、「尽力されました」。

奥田会長は奈良の高等師範学校を卒業後、昭和20年9月に母校の福山高女に数学の教師として赴任され22年に退職されました。結婚後上京されて東京の中学の教師となり教頭、校長を務め、東京都中学校女性校長会会長もされるなど教育一筋の方でした。

第1回〜12回までは、毎年200名近い参加者で同窓会を開催することが出来たのも、



初代会長
(昭和62年〜平成10年)
昭和17年卒
故奥田良子

奥田会長のお力に寄るところが大きかったのではと、改めて奥田会長のお人柄が偲べれます。

当時県女の教え子の23年卒の方々は「厳しい中にもとても優しい先生でした」と、今も話されます。当時の役員・幹事会でも並み居る男性陣の前に、大きな声で的確なご意見を言われ、絶大な指導力で、現在の東京同窓会の礎を築かれたように思います。

(前顧問 豊沢朝子記)

■この幸せを共に慶祝したい

伝統に磨き抜かれた誉れ高い県女時代から歴史を重ね、今日110周年を迎えた。

折柄、わが東京同窓会(旧新合同)も設立

後30年、「あしび」も第10号の発行を数えるに至った。

6月19日の記念総会では、本部同窓会の赤松会長から私に感謝状をお贈りいただいた。己の来し方を顧みるにつけ内心忸怩たるものがあるが、所詮これは私を支えて頂いた役員・幹事をはじめとする会員の皆様に対する報奨であると受けとめ感謝している。

ここで、この機会を捕らえて、追憶を辿り、在任中の歩みを検証し後の活動に資したい。平成16年第18回総会で私が第三代会長に指名されることになった時、己がその器であるか自問し、逡巡の末、蛮勇をふるってお引き受けさせて頂いた。

爾来、「会の活性化」の取り組みを最優先課題に位置づけて、役員・幹事会に諮り、共



第2代会長
(平成11年〜16年)
昭和26年卒
徳永 隆

通認識のもとで、成果を求めて積極的に行動に移した。

「会の活性化」、それは取りも直さず、「会の経済基盤」の強化、安定化に他ならず、会員の増加に俟つ以外に方策は見出せない。

しかし、プライベートの観点での制約、個人の価値観や帰属意識の濃淡と深く関係することから単純な方法は採り得ない。歴代の先人が均しく苦悩した所以である。

そこで、会員による勧誘、情報誌「あしび」への媒体機能の期待、ホームページの立ち上げ、卒業式の行事の中での卒業生に対する当会のPR等を実施しているが、いずれも会員増に繋がる目に見える成果は出ていない。

また、会自体が同期会の集合体であるので

同期会の充実、強化を企図してきたものの、その核となるリーダーの発掘が難しいのが実態である。

いろんな契機で、「総会」等への出席者が増加し、その連鎖として会員が増えるという好循環は淡い期待なのだろうか。

本来、「総会」の意義が幅広い世代間の交流による親睦・情報交換と研鑽の場であることに鑑みると、価値観が多様化した現状では、会場の設えや運営の手法に工夫を凝らし、出席者が自ら求めるメリットを享受し得る、より多岐で柔軟な、オープンな会とすることが求められているのではなからうか。

「経済的基盤」の充実なくば、会として果たすべき母校への経済的協力も覚束無い。斯様な諸課題を解消し同窓会本来の機能



第3代会長
(平成17年〜24年)
昭和28年卒
来山和義

を回復し得ない仮、高田会長に後を託し退任させて頂いたが、優秀な彼は、昨年8月、惜しまれつつ他界してしまつた(合掌)。

このうちは、見識と実行力の現来山会長の手腕に期待を寄せ、挙げて支援しよう。

結びに当り、会の発展と会員の皆様のご多幸をお祈りしながら、在任中、お寄せいただいたご支援、ご協力を改めて深謝申し上げます。有り難うございました。

(来山和義)



第4代会長
(平成25年〜27年)
昭和36年卒
故高田稔

■高田会長の後を継いで

東京同窓会の創立30周年を迎え、この同窓会の発展のために「尽力いただいた、歴代の会長、役員・幹事として会員のみなさまに改めて感謝いたします。私は、前会長の高田稔さんが任期途中で急逝されたことに伴い会長代行をお引き受けし、昨年の総会で会長に選出されました。それまで高田さんが力強く会を牽引されてこられただけに、彼を失ったことは大変残念です。今後は歴代の会長さんの意志を引継ぎ、会の運営に携わっていきたくと考えております。

さて、東京同窓会の最近の動向についてご紹介いたします。若手会員が役員・幹事会で積極的に会の運営に協力をしてくれています。



第5代会長
(平成28年〜)
昭和36年卒
来山 征士

また、昨年の総会は会場も新たに、現役大学生の参加も得ました。そして福山から参加され東京での同期会の開催など、有意義な会となっております。

広報誌「あしび」は第10号を発刊し、好評を得ております。そして、葦陽同窓会のホームページも一新し、魅力ある情報を会員に届けています。一方、母校の東京研修修学旅行では上京してきた後輩と交流をしております。

今後、東京同窓会はもちろん、福山葦陽高校とその同窓会の発展のために努力をして参ります。引き続き、みなさまのご支援、ご協力をお願いいたします。

(来山 征士)



第26回 総会で

1990

1989

1988

1987

奥田良子

第4回
平成2年9月16日(日)
こまばエミナース(121名)



こまばエミナース

第3回
平成元年11月11日(土)
こまばエミナース(123名)



会員のカバと寄附により
会名簿発行



芝プリンスホテル



第2回 芝プリンスホテル

第2回

昭和63年10月30日(日)
東京芝プリンスホテル(163名)
●東京同窓会 会則制定
●名簿発行



第1回総会プログラム

第1回
昭和62年5月13日(水)
東京八重洲鉄道会館
ルビーホール(出席者172名)



第1回 中央に友竹正則さん



第3回 こまばエミナース(右から5人目が奥田会長)

2001

2000

1999

1998

1997

1996

徳永 巖

第15回
平成13年9月9日(日)
ホテルグランドヒル
市ヶ谷新館(131名)



第14回総会プログラム



平成12年
会名簿発行

第15回総会プログラム



第15回 ホテルグランドヒル市ヶ谷

第13回
平成11年10月16日(土)
京王プラザホテル(158名)

第13回総会プログラム



旧赤坂プリンスホテル別館

第12回
平成10年10月11日(日)
赤坂プリンスホテル別館(194名)
●会則改正



第11回総会プログラム



第11回 福山葦陽東京
恩師 永谷英成先生

第11回
平成9年9月28日(日)
中野サンプラザ(212名)



第10回総会プログラム



旧五反田ゆうぼうと

第10回
平成8年10月19日(土)
五反田ゆうぼうと(155名)

2012

2011

2010

2009

2008



高田会長へバトンタッチ

第26回
平成24年10月14日(日)
八重洲富士屋ホテル(100名)
●あしび06号



新しくなった
福山駅前前のモニュメント

井上、平松両先生を囲んで二次会
銀座「おちこち」にて



東日本大震災の復興にいち早く立ち上がった
会員の手記 「あしび05号」



「東日本大震災に注目して」

第25回
平成23年10月30日(日)
八重洲富士屋ホテル(101名)
●あしび05号
●東日本大震災
(3月11日)



ホテルニューキャッスル
前の青空

第24回

平成22年10月31日(日)
八重洲富士屋ホテル(100名)
●あしび04号



24年卒川原さんの独唱



40年代卒のテーブルです、後輩の参加待っています!



第23回 八重洲富士屋ホテル

第23回
平成21年10月25日(日)
八重洲富士屋ホテル(96名)
●あしび03号



総会の最後は校歌斉唱









旧校舎の「楠」は今も
博物館前に健在です










三谷 昇さんの楽しいトークがありました



第22回 26年卒俳優の三谷昇さんと

第22回
平成20年10月19日(日)
八重洲富士屋ホテル(107名)
●あしび02号
●会則改正

1995	1994	1993	1992	1991
<p>●阪神淡路大震災(1月17日)</p> <p>平成7年10月15日(日) 京王プラザホテル(138名)</p> <p>第9回</p>	<p>平成6年10月22日(土) 京王プラザホテル(236名)</p> <p>第8回</p>	<p>池袋東方会館(178名) 平成5年10月16日(土)</p> <p>第7回</p> <p>当番幹事の21・22年卒 豊沢朝子さんと 40年卒田丸佐知子さん</p> 	<p>平成4年10月3日(土) 五反田ゆうぽーと(197名)</p> <p>第6回</p>	<p>平成3年9月28日(土) 中野サンプラザ(212名)</p> <p>第5回</p>
 <p>第9回 恩師 宮先生を囲んで</p>	 <p>京王プラザホテル</p>	 <p>旧池袋東方会館</p>	 <p>第6回 五反田ゆうぽーと 友竹正則さん</p>	 <p>中野サンプラザ</p>

2007	2006	2005	2004	2003	2002
<p>●あしび創刊 01号 ●東京同窓会HP開設</p> <p>平成19年10月7日(日) 八重洲富士屋ホテル(100名)</p> <p>第21回</p>	<p>創立100周年記念式典が リーデンローズで行われました</p> <p>平成18年9月2日(日) 北区滝野川会館(110名)</p> <p>●母校創立100周年</p> <p>第20回</p>	<p>赤坂シユビア(118名) 平成17年10月23日(日)</p> <p>●個人情報保護法施行(4月) ●当番幹事制での 最後の開催</p> <p>第19回</p>	<p>池袋サンシャイントリアン(90名) 平成16年10月17日(日)</p> <p>第18回</p>	<p>平成15年10月19日(日) 池袋サンシャイントリアン(126名)</p> <p>ステージ 平成3年卒 池田直子さん 豊さん</p> <p>第17回</p>	<p>平成14年10月13日(日) アルカディア市ヶ谷(117名)</p> <p>ステージ 平成3年卒 横山知枝さん</p> <p>第16回</p>
 <p>創刊誌 表紙に 創校舎 のモニュメント</p> <p>紙地 表紙 表紙 表紙</p> <p>第21回 開催 され まし た</p>  <p>旧八重洲富士屋ホテル</p>	 <p>創立100周年 記念誌</p>  <p>第20回総会 プログラム</p>  <p>第20回 北区滝野川会館</p>	 <p>第19回総会 プログラム</p>  <p>第19回 赤坂シユビア</p>	 <p>第18回 池袋サンシャイントリアン</p>	 <p>第16回総会 プログラム</p>	

2015	2014	2013
来山征士/高田 稔		高田 稔
<p>明王院五重塔</p> <p>平成27年10月25日(日) 神田学士会館(104名)</p> <p>●あしび09号 ●会則改正 ●第3回研修学旅行 交流会(10月)</p> <p>第29回</p>	<p>品川プリンスホテル(94名) 平成26年10月25日(土)</p> <p>●あしび08号 ●広島豪雨(8月) ●第2回研修学旅行 交流会(10月)</p> <p>新しい会場 品川プリンスホテル</p> <p>第2回 研修学旅行 交流会 昭和2年卒弓手静子さん 104歳(当時)</p>  <p>第28回 品川プリンスホテル</p>	<p>八重洲富士屋ホテル(100名) 平成25年11月17日(日)</p> <p>●あしび07号 ●葦陽高校研修学旅行で 交流会(10月)</p> <p>司会は名コンビ 中山さん、福島さん</p> <p>いつも元気に参加下さる県女卒の方々</p>  <p>第27回 八重洲富士屋ホテル</p>
 <p>第29回総会 プログラム</p>  <p>第29回 大学生も一緒に校歌斉唱</p>	 <p>第28回総会 プログラム</p>  <p>第28回 品川プリンスホテル</p>	 <p>第27回総会 プログラム</p>  <p>第27回 八重洲富士屋ホテル</p>

福山本部

赤松治美会長



本部長ならびに各地支部長、
会長が一堂に会し、今後の交流について
話し合われました



近畿支部

宇田成徳支部長

オープニングは
勇壮な「蔵王太鼓」で
会場に花を添えます



創立110周年記念特別功労者として
近畿支部 宇田成徳支部長と
来山和義 元東京支部長が
表彰されました



総会司会の
渡辺敏恵さんと
神園実行委員長



記念祝賀会は、福山葦陽高等学校 吹奏楽部による
美空ひばりメドレーの演奏でスタートし、終始和やかな
ムードでした



葦陽校歌「♪島山の〜」斉唱



新任の小林校長



乾杯は藤井前校長

会場の外では吹奏楽部の定期演奏会の
お知らせとカンパのお願い

110周年を迎えました。



平成28年度
総会冊子

最後にりましたが、福山葦陽同窓会東京支部の益々のご発展をお祈り申し上げます。

この度の同窓会活動は、葦陽高校の伝統を肌で感じ、葦陽の卒業生で良かったと改めて感じさせていたいただいた一年間となり感謝いたしております。

記念講演は、サッカーで活躍している同期生の今川君が快く引き受けてくれ、葦陽高校現役サッカー部生徒の参戦や、サンフレッチェ森保監督のビデオ出演といったサプライズもある中で大変な盛り上がりを見せられました。

母 校創立110周年という節目を迎える中、平成28年度福山葦陽同窓会総会・記念祝賀会は、恩師や教職員の来賓の方々をはじめ342名のご参加をいただき、6月19日に盛大に開催することができました。誠にありがとうございました。

一年前に実行委員長という大役を引き受けさせていただいた際には、不安一杯の船出でありましたが、役員の皆様をはじめとする諸先輩方のご支援と実行委員の仲間の協力により、何とか役目を果たすことができましたと感謝し胸を撫で下ろしているところであります。



実行委員長
昭和54年卒
神園 敦之

平成28年度同窓会 総会を終えて

絆

SINCE 1906 - 2016



葦陽高校サッカー部員も講演を拝聴



今川さんを囲む同期の仲間

記念講演は「現在(いま)を生きる!」
54年卒でサッカーを通じて大学や社会人で活躍された今川正浩さん(東海大学体育学部 准教授)

東京支部
来山征士支部長



広島同窓会
宇田育造会長

オープニング前

元気な恩師のお顔も



記念祝賀会風景



インタビューする総会司会の藤田さん



当番幹事の皆さん



次回当番幹事(昭和55年卒、60年卒、平成6年卒、16年卒、23年卒)の意気込み。県女校歌「♪紅匂う〜」斉唱

福山葦陽高等学校は創立

今年も110周年という大きな節目にふさわしく盛大な同窓会総会が開催されました。赤松会長をはじめとされる同窓会関係者の皆様、神岡実行委員長をリーダーとされる当番学年の方々のご尽力の賜物と思い、敬服の至りです。私も本会に毎年参加させて頂き思う事は、やはり本校の持つ重き伝統です。生まれ育った時代はそれぞれ違えども、同じ学び舎で青春を過ごしたという「同窓の想い」は、110年という時を越えて脈々と伝承されています。県女、葦陽の先輩諸兄姉が杯を酌み談笑され、そして最後は二校の校歌を大合唱されるのは例年の流れですが、この時に私は言葉にできぬ本校の歴史の重みを胸に感じます。

更に今年は、来年に向けての身の引き締まる想いも感じ得ました。次なる周年へのスタートの年でもあり、私たち当番学年で知恵を絞ってあらゆる学年の皆様にもお楽しみ頂ける同窓会を企画していく所存です。来年は6月18日(日)、本年同様ニューキャッスルホテルにて開催されます。東京同窓会からも、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。これからの一年、ご指導ご鞭撻よろしく御願ひ申し上げます。



次回総会実行委員長
昭和55年卒
横藤田 晋

次なる周年に向けて



創立110周年
記念誌



福山葦陽高校の今年のテーマ

チーム葦陽 111年目の挑戦

—学びの変革への挑戦、グローバル化への挑戦、文武の両立への挑戦—

本年度の合言葉は、『チーム葦陽』です。生徒・教職員・保護者の皆様、そして歴代の同窓会の皆様をはじめとする関係者の皆様からの御支援と御協力を受けながら、「地域から愛され信頼される学校づくり」、「福山葦陽高校で学んでよかったと心から思える学校」の実現のため、『チーム葦陽』スクラムを組んで、全力で努力してまいります。本校に対して、皆様の一層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。



とばやし やすたか
校長 小林 泰崇

1

研修修学旅行

(平成27年10月6日(火)～9日(金))

3回目となった昨年度は、「日本臓器移植ネットワーク」「NHKスタジオパーク」「日本科学未来館」「株式会社セブン&アイ」「株式会社サンリオ」等、計45社の企業へ訪問しました。その後、東京湾クルーズを東京同窓会の方々とご一緒し、楽しいひとときを過ごしました。お忙しい中、ありがとうございました。



企業訪問と東京湾クルーズで食事

2

姉妹校との交流

今年も、ハワイ州ワイパフ高校から6人の生徒と2人の教員を迎え、国際交流を図りました。本校生徒からホストファミリーを募り、5月30日(月)～6月12日(日)の約2週間授業参加・部活動体験・小学校への訪問等々、校内外を問わず幅広く交流しました。



ワイパフ高校歓迎式典



下崎教育長来校(書道部大書)



今年度、広島県は「高校総合文化祭※」「全国高校総体」の会場県となっています

※全国高等学校総合文化祭は、全国から各都道府県を代表する高校生が集結し、美術作品の展示や演劇・音楽の舞台発表などの芸術・文化を披露する、高等学校の文化の祭典。

3

部活動状況

●水泳部【昨年度の主な大会の結果】

全国高等学校総合体育大会
中国高等学校選手権水泳競技大会

競泳(女子)
飛込
個人入賞

9名出場
総合優勝
総合優勝
多数

広島県高等学校選手権水泳競技大会 競泳(女子)

今年も全国大会での活躍が期待されています。



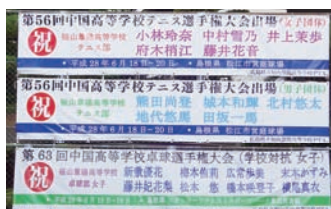
全国高校総体
広島県会場地マップ



●テニス部・卓球部

【今年度の活躍】

6月18日～20日に開催された中国大会へ男女チームが出場しました。昨年度に引き続き、活躍が期待されています。



●ラグビー部【最近の話】

6月8日付け毎日新聞・中国新聞にラグビー部の記事が掲載されました。1年生がたくさん入部し5年ぶりに単独編成で大会に出場できるという記事です。高い目標を掲げて日々練習に励んでいます。



なかやま ゆきたか
中山 行孝 先生
 [英語 昭和35年~43年]

「葦陽の思い出」



少し前の私（喜寿）

の声優として当時74歳の小生を誘ってくれました。以来10年近くの間、3回の脳梗塞と闘いながら、今も月一本のラジオドラマに時々出演しています。今84歳を過ぎたこの年になるまで、自分の好きな事をやらせてもらっている幸せを、心から感謝しながら頑張っています。

葦陽高校放送部（IBC）の思い出の一つは、沼隈にある有名な「常国寺」で先輩を含めて数年間行った夏の合宿訓練ですが、（話題が多すぎて書けません）もう一つは、高校の図書館の隣に、防音壁を二重にし、その隙間に鋸屑を詰めて、立派な放送スタジオを造ってもらい一同大喜び。やがて校門の南で、ドスドスンと新幹線の二重高架の工事が始まり、壁の間に入れた鋸屑がずれ落ち、折角の防音壁が駄目になりましたが、そんな放送室でも楽しく練習した事です。

IBCのプロ第1号は、昭和43年卒の丸田清文君で、彼がRCCのアナウンサーとして、昭和49年8月6日、広島平和公園での平和祈念式典の様子をラジオで全国へ実況放送したのを聞いて、涙が出るほど嬉しかった。その彼が、平成13年、RCC福山放送局の局長として故郷へ錦を飾ると、やがて平成18年、同放送局にラジオドラマグループを立ち上げ、その一員

当 時28歳の私は、何でも若さに任せ、がむしゃらにやっただけ。授業は、「誠之館に追いつけ」を旗印に、担任団のすばらしいチームワークのもと、組編成を進路別に分けたり、女子だけの進学クラスを作ったり、当時流行の視聴覚教育にあわせ、NHKのラジオの英語講座を授業に利用したり、生徒諸君もよく頑張り、一定の成果をあげたと思う。

クラブ活動では、運動部は卓球部女子を、文化部は、演劇部と放送部を担当しました。元々私は演劇が好きで、教育学部へ入学しても『俳優になりたい』という夢は捨てきれず、昭和26年、学生のまま創立間もない中国放送（RCC）の放送劇団にも入り、ラジオドラマに出演していました。その経験を生かし、教師になっても転勤する度にどの高校でも放送部の顧問を務め、NHK杯全国高校放送コンテストへ30年近く連続して生徒を参加させました。



日本専門新聞協会フォトコンテスト秀作



かわさき まさとし
川崎 雅俊 先生
 [生物 昭和54年~平成8年]



数年前、能登白米の千枚田を撮影に行き、七尾にて

平成23年3月に就職関係の仕事を退いてから、NHK文化講座（写真）を受講。各地の祭りや催しそして花や景色の撮影に出かけています。2年前から芦田川のシラサギやミサゴの写真も撮っています。ミサゴは芦田川河口堰で魚を捕る体長60cm、翼長170cmの大型の鷹の仲間、低空を旋回（ホバリング）しながら水中の魚（ズズキ・チヌ・ボラなど）に狙いを定めて、一直線にダイビングして鋭い爪で捕獲します。写真は、そのミサゴがズズキを捕獲したものとシラサギの羽が夕日で金色に映えているものです。

歳とともに全てに衰えを感じるようになってきましたが、体力の続く限り良い被写体を求めて出歩きたいと思っています。皆様のご健勝をお祈りします。

古 風な木造2階建て校舎が一部残っていて、歩くときの床の軋むこともあった福山葦陽高等学校に生物教諭として赴任したのは、昭和54年の4月でした。まず、感心したのは、生徒会長の指揮のもと生徒全員がグラウンドに整列し生徒朝会が整然と行われるのを目にしたことでした。授業はもちろん、文化部・運動部の活動や生徒会行事に積極的に取り組み、高校生活を有意義に送っていた姿が思い出されます。

在職期間18年の中で特に印象に残っている一つが、久松台の新社舎への移転。西町の旧校舎で使っていた机椅子その他の備品を教職員と生徒が一体となって運び上げたこと。そして新しい校舎のもので、新しい葦陽高校を創ろうと意欲溢れるスタートしたこと。二つ目に平成6年1月のサッカー部の全国大会初出場ベスト8入賞の快挙。生徒と教職員そして保護者会・同窓会と地域の人たちも一体となった応援で、福山葦陽高校ここにありと盛り上がったことでした。

古地図発見！！

母校に貴重なお宝がありました。初代藩主の水野勝成から5代続いた水野家時代の福山城周辺を記した地図（絵図）が見つかりました。創立当時、我々の先輩がこの地図を見ながら授業を受けていたのかもしれない。

発見

6月14日付
中国新聞(福山版)



水野家時代福山城下明細地図 (1600×1630mm)



廢藩直前福山城下地図 (903×783mm)



阿部家領地図 (710×1044mm)



水野家領地図 (780×1230mm)

見つかったのは、「水野家時代福山城下明細地図」「水野家領地図」「阿部家領地図」「廢藩直前福山城下地図」。原本は江戸中期に描かれ、明治期の模写とみられる。周辺の地形まで描いた、広範囲を把握できる地図は珍しいという。

福山町立女学校(現福山葦陽高等学校)がなぜ城内にあったのか?

37年卒 福山城博物館館長 鐘尾光世さんに解説して頂きました。

「明治6年に全国の城郭や軍事に関する土地や建物の処分が陸軍省から出された。翌年、県より建物城地の払い下げが行われ、福山の中心部に町の発展につながる有効活用できる広さの土地があった。明治22年に一部鉄道会社への売却があり、明治24年に鉄道・駅舎の建設が行われた。明治30年以降、近代化のために全国各地で女学校の設立がされるなかで、城内の三之丸に明治36年、福山女子尋常小学校と高等小学校が設置された。母校の前身福山町立女学校はそれらに併設される形で明治39年に設立された。」などの記録が残されています。古地図からも福山周辺は田畑や湿地帯で、当時学校の設立のための場所としては城内の土地が最適だったのだろうと考えられます。

古地図の一般公開は、創立110周年記念講演会「絵図からひもとく福山の歴史」9月4日(日)広島県立歴史博物館で備陽史探訪の会長長田口義之さんが講演されます。福山市制100周年の今年、大変興味のある話題です。

資料、写真提供: 福山葦陽同窓会



38 2年遅れの古希を祝う同期会

(38年卒)



古希を記念して(実際には2年遅れ)平成28年4月17日に福山・蔵王町「みやび」において、恩師の谷本先生をお迎えして同期会を開催しました。

関東在住者8名を含む45名の参加者。福山駅で会場手配のバスに乗り込む「アంతは誰かの」「ワシが分かるか」との声が早速飛び交っていました。

初の試みとして卒業アルバムから各人の顔写真を取り出し写真付きの名札を用意したところ、72歳の現実の顔と18歳当時の若々しい顔とのギャップにお互いを確認し(笑)合う場面が随所で繰り広げられ大いに盛り上がりました。

会は三次会(カラオケ)へとなだれ込むマフソン宴会となり盛況裏におおきとまりました。

次回の同期会開催は喜寿か傘寿の年となるでしょう。在京のみなさんは東京同窓会へドンドン出席して盛り上がりてください。

星野英章(福山市)

39

福山から東京で古希の同期会 (39年卒)



横浜での二次会



37、41年卒の皆さんと

① 昨年、福山での卒50年度は福山から出向いて行くので東京同窓会で会いましょうとなり、東京の幹事さんにお声がけいただき51年目の同期会となりました。卒業以来の再会もあり、福山では会えない先輩、後輩の方々とも半世紀ぶりの再会でした。二次会は横浜に移動し総会に出席できなかった方々と合流。

三次会はカラオケ。「青春時代」で大いに盛り上がりました。

小野知行(福山市)

東京同窓会二次会では50余年ぶりに皆様と再会でき、楽しいひと時を過ごせ、なつかしい青春時代がよみがえり、古希を迎えて今、元気に人生を、楽しく過ごせたらと思っています。

中島美代子(綾瀬市)

40 古希の会 (40年卒)



福山で48人の「古希の会」



東京同期会

② 6月19日、創立110周年を祝う同窓会総会がニューキャッスルホテルで盛大に行われました。その余韻の残る中、同ホテルにて、40年卒の「古希の会」を催しました。当初予定していた人数を大幅に超え、48人もの出席者で急遽会場を16Fに変更して立食となりました。お蔭でお城やかつての葦陽高校の敷地を眺めることが出来、大いに会話が弾みました。

「朝夕の散歩で意外な人と出会った」、「エスぺラント語の勉強を始めた」、「中山道を歩き始めた」、「陶芸や、日本画、書に命を燃やしている人」等々、今を熱く語る人たちに感動したひと時でした。

最後に「応援団長の「フレー」の発声、音楽部の指揮のもと「ノ鳥山の、緑を抱き」と大声で合唱し、7年後の「喜寿の会」には一人の欠席もなく再会しよう!と約束しました。翌日は、有志で同期のボラティアガイドの案内のもと、鞆の浦の散策をしました。

浅野昌平(福山市)

今回、「古希」東京同期会のお誘いから、「逢えたよ!逢えたよ!」念願叶い、多くの幸せに包まれました。輝く顔 顔 顔。生きる力をみましました。素晴らしい時をいただきました。感謝です。

児玉弘子(江戸川区)

祝 福山市市制施行100周年

100th anniversary

7月1日、福山市は市制施行100周年という記念すべき日を迎えました。これまでの100年にもわたる福山の歴史への**感動**、今の福山をつくりあげた先人たちへの**感謝**、新たなる未来を創造する**夢**、この「**感動・感謝・夢**」を育み、夢と希望に満ちた次の100年へとスタートします。



100周年記念事業で誕生した
記念ばらの愛称は
「ローズマインドふくやま」
に決定!

100周年記念の式典や
イベントが市内各地で
盛大に開催されました。



ふくやま・ひろしま・とうきょう情報

7/1 記念式典

市制施行100周年記念式典をふくやまりーデンローズで開催。福山市の発展に貢献された方々への表彰や、100周年を記念して作られた「ばらのまちから」の合唱、福山市長による未来宣言が行われました。



7/2 第2回 7/3 福山博覧会



市制施行100周年を記念して、99年前に開催された通称「福山博覧会」をモチーフに開催。両日で延べ約31,000人が来場し、フィナーレでは「福の山音頭」の総踊りで会場全体が盛り上がりました。



会場の中央公園

7/3 記念コンサート

ミュージシャンの世良公則さん(49年卒)が100周年記念コンサート「帰ってきたSAMURAI 世良公則ライブ」に登場!

福山城に野外特設ステージを設け、天守閣をバックに熱唱し、盛り上がりました。世良さんと親交のある、つるの剛士さんも共演し、最後のアンコール曲は、皆さんご存じのヒット曲「燃えろいい女」! 100周年を記念したスペシャルな夜になりました。



つるの剛士さんと
共演

「帰ってきたSAMURAI 世良公則ライブ」に大興奮!!

7倍の競争率の当選はがきを持ち、いざお城に! ライトアップされた天守閣前のステージで、マイクスタンドが宙を舞う当時のままのスタイルで次々と歌を大熱唱。もう会場は大興奮。葦陽高校時代や退職を迎えた同級生の話などもありました。同じ葦陽高校で良かった! 世良公則さんに酔いしれたライブでした。(53年卒 女性)

9号に **カンパを頂いた方々です。**

全国から多くの暖かいカンパと励ましを頂戴し、そして原稿をお寄せ下さいました皆様のお陰で、昨年9号を発行することができました。誌面をお借りしまして厚く御礼申し上げます、ありがとうございます。

福山葦陽東京同窓会会長
来山 征士

恩師/井上謙二、今岡睦敏、/福山葦陽同窓会本部、/本部総会時有志、S15/妹尾章子、S16/河毛俊子、S18/花本光子、S19/児玉寿美子、佐藤嘉子、S20/角田昌子、坂部佳江、宮南幸恵、S21・22/寺地洋子、渡辺和子、堀田紹枝、鳥越公香、井口友子、武田美津子、豊沢朝子、森 成子、S23/深坂米子、高比良欣子、武田和美、S24/石井照子、高坂依子、川原絹子、石山勝子、永島靖子、井上摩尼子、藤井拓三、S25/山本隆造、入江英代、近藤正子、池口義人、占部健夫、藤永政江、原田玲子、S26/鈴木房枝、蔵本勝太郎、安部隆子、橋本文子、徳永巖、S28/羽原雄二、長島志津子、渡部洋子、小林博子、遠藤信子、片岡礼子、来山和義、永島直子、S30/小土井敏隆、池本郁子、小田富子、S31/岩瀬健祐、岡崎信之助、前原一夫、S32/石井義信、池田朗子、柳田幸恵、S33/山下恵子、藤井栄治、小川敏彦、S34/柳橋貴子、坂田典子、開原 剛、連石勉、平山 肇、佐藤凡雄、S35/宮 真寿恵、前原美知子、田治正光、山本良三、渡邊昌信、若林容子、佐野禎信、細川ハテミ、濱田昌彦、伊地範子、真田和恵、S36/安達千鶴子、田辺治通、細羽礼子、桑原尚子、和田晶美、曾我登喜、東 早苗、川端美枝子、加藤公恵、向井総昭、井上哲也、日和正美、松田恵子、来山征士、S37/鐘尾佳子、高橋淳美、遠藤宏子、岩瀬浩造、S38/升川澄子、佐久間 定、S39/中島美代子、大谷公枝、佐藤綾子、榊山勝子、小野知行、竹内 肇、黒川泰吉、S40/石井浩司・昌子、小林深雪、杉原裕行、毛利昌造、林 千鶴、出原信江、西崎道子、村上芳則、児島志のぶ、山本和子、田丸佐知子、神原郁子、西 直枝、S41/吉岡清八郎、S42/岩尾悦子、由井由美子、S43/平田喜子、木下照江、神 敏子、藤井継道、岡本利男、S44/廣川照樹、田中仁美、結城雅子、S45/細谷永子、信楽益枝、一安京子、ラグビー部有志、小野田 久、佐藤巧、小池秀子、池田由紀子、S47/松永悦子、世良真理子、水澤加代子、福島育枝、杉原郁子、S48/加藤和子、本作恭子、S49/水船美佐子、愛敬博士、篠塚康孝、S50/小林幹典、妹尾有子、勝岡宏行、成沢勝行、渡部圭子、S52/神原豊司、(卒業年順、敬称略 2016年8月5日現在)
※その他多くの方からご支援いただきました。心より感謝申し上げます。

「あしび」編集室 及び 東京同窓会事務局

同窓会に関すること、「あしび」に関することはこちらにご連絡下さい。

〒180-0006
東京都武蔵野市中町1-34-3-403
(有)ビッグバン内 あしび編集室
TEL 070-6965-3702
〈同窓会事務局・あしび専用 寄国 聡〉
FAX 0422-52-1596
e-mail:syorikuni@gmail.com

企画テーマ、投稿も募集します！

『あしび』に掲載する記事や取り上げて欲しいテーマなどございましたらいつでもご連絡下さい。

今年から住所等の変更は 本部HPからもできるようになりました。

福山葦陽同窓会

検索

※HPがリニューアルしましたので、是非ご覧下さい。

母校創立110周年 記念事業

福山本部より

● **創立110周年記念式典**

9月4日(日) 午前10時30分～
ふくやま芸術文化ホール(リーデンローズ)
記念講演 寺田和正氏 (59年卒 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド社長)

● **創立110周年記念講演 『絵図からひもとく福山の歴史』**

9月4日(日) 午後14時～15時30分
広島県立歴史博物館(旧葦陽校舎跡)
講師 田口義之氏(備陽史探訪の会 会長)

● **創立110周年記念 第3回同窓会作品展**

8月30日(火)～9月4日(日) 午前9時30分～午後17時
ふくやま美術館(旧葦陽校舎跡) ※最終日は16時まで
※お問い合わせは同窓会事務局(TEL:084-982-5139)まで

● **壁画「学校の歴史」修復**

● **創立110周年記念誌発行**



● 創立110周年記念誌



● 昭和58年に描かれた壁画を修復



リーデンローズ



● 発見された福山城下古地図(絵図)

● **母校研修修学旅行で東京同窓会と交流会**

昨年10月7日、母校の研修修学旅行に東京同窓会の有志8名が生徒さん達と東京湾サンセットクルーズを楽しみながら交流を深めました。東京に暮らす先輩との話の中で今後の自分自身の進路設計の一助とするだけでなく、母校に愛着と誇りを持って欲しいと願うばかりです。



● **喜多流大島能楽堂の新作能「福山」**

福山市市制施行100周年を迎えて、新たな能楽「福山」が誕生しました。時代を超えて福山にゆかりある水野勝成と阿部正弘が織りなす世界観をご堪能頂けます。7月16日(土)リーデンローズにて初演会が開催されました。



新作能「福山」

● **旧葦陽校舎跡地には、ふくやま美術館と 広島県立歴史博物館**

昭和57年に現在の葦陽高校に移転し、その跡地はふくやま美術館と広島県立歴史博物館になりました。駅からも近くて利便性の良い場所に立派な施設が、まさに福山の顔として存在しています。当時の面影はすでに無く、見上げるお城が確かにこの地は母校だったと認識させてくれる懐かしい場所です。近くて遠くなった福山ですが、時間が許せば是非訪ねてみたい所です。



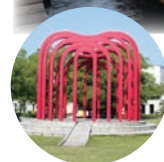
広島県立歴史博物館



ふくやま美術館



室内展示



芝生広場

母校創立110周年にあたり

福山本部

ホームページ

福山葦陽同窓会はHPをリニューアルしました!

fukuyamaiyo.jp が 福山葦陽同窓会 検索 で検索して下さい。

- トップページには各時代の懐かしい写真や、現在の校舎の写真に掲載。
- 福山本部をはじめ、各支部の同窓会からのお知らせや、葦陽同窓会の歴史、お問い合わせなど同窓会に関する情報がすべて検索できます。

1 トップ 各時代の懐かしい写真



2 お知らせ一覧 本部、支部その他同窓会に関する最新の情報がここで見られます

3 同窓会について 同窓会の概要と歴代会長、福山本部、各支部役員一覧

4 同窓会の歴史 同窓会活動記録と福山葦陽学校史

5 お問い合わせ メールでいろいろなお問い合わせができます。お名前、アドレス、お問い合わせ内容を記載して送信します

6 同窓会からのお願い ○住所変更 ○110周年記念事業にご参加ください

7 東京支部が発行している広報誌「あしび」 最新号並びにバックナンバーをpdfにてご覧いただけます



あしび10号 特集



※東京同窓会会員の方も情報をお寄せ下さい。



節目の年が重なりました!

記念の年、2016 今年が母校創立110周年、東京同窓会第30回開催、あしび10号発行と節目の年になりました。併せて郷里福山市が市制施行100周年で、いろんな行事やイベントがすでに開催されていて、さぞや賑やかなことでしょう。生まれ育った郷里を遠く離れ、何年経ってもいろんな事が思い出されます。今でも思い出することが出来るのは何かの繋がりを持って日々生活している証しだと思います。郷里とは一生切っても切れないものなのでしょうね。

福山葦陽同窓会HPに掲載の東京同窓会開催のお知らせ

tokyo Ashibi 10
平成28年8月31日発行(年1回)
発行人/ 来山征士(S.36卒)
編集担当/ 岩瀬浩造(S.37卒)、田丸佐知子(S.40卒)、村上芳則(S.40卒)
制作担当/ 寄國 聡(S.45卒)
編集/ 福山葦陽東京同窓会役員会・幹事会
編集協力/ 福山葦陽東京同窓会会員、福山葦陽同窓会本部、福山葦陽高等学校、福山市東京事務所、福山市 他

編集後記
創刊以来、どうにかこうにか無事に10号まで発行することができました! この10年の間に同窓会会員の方々をはじめ多くの皆さんから原稿や写真、そしてカンパをお寄せいただき毎年発行を続ける事ができました。ここに改めて御礼を申し上げます。節目の年、良い記念号となりました。